ハトダヨ
2019年
1月号

函館市中央図書館だより

編集・発行　函館市中央図書館　指定管理者 TRC 函館グループ
〒040-0001　北海道函館市五稜郭町 26 番 1 号
TEL（0138）35-5500　FAX（0138）35-5525

第33号 平成31年1月4日 発行

予約ランキング

図書館でたくさん予約が入っている本は何か、みなさんはご存知でしょうか。
ランキングを参考に読みたい本を探すのも一つの方法です。
ご予約は図書館の窓口、またはインターネットからどうぞ。

＼平成 30 年 12 月 1 日現在，予約回数の多かった本をご案内しています／

1	沈黙のパレード	東野　圭吾／著	11	ののはな通信	三浦　しをん／著
2	未来	湊　かなえ／著	12	ブロードキャスト	湊　かなえ／著
3	ファーストラヴ	島本　理生／著	13	ロンリネス	桐野　夏生／著
4	すぐ死ぬんだから	内館　牧子／著	14	任侠浴場	今野　敏／著
5	大家さんと僕	矢部　太郎／著	15	万引き家族	是枝　裕和／著
6	愛なき世界	三浦　しをん／著	16	下町ロケット　[4]	池井戸　潤／著
7	一億円のさようなら	白石　一文／著	17	六月の雪	乃南　アサ／著
8	コーヒーが冷めないうちに	川口　俊和／著	18	人魚の眠る家	東野　圭吾／著
9	下町ロケット　[3]	池井戸　潤／著	19	むすびつき	畠中　恵／著
10	ふたりぐらし	桜木　紫乃／著	20	ボーダレス	誉田　哲也／著

イベント告知

今月の展示

開架展示コーナー

「その先の、未来へ」
1 月 10 日（木）～2 月 21 日（木）

平成から年号が変わる、2019 年。この新たな年に、さまざまな「未来」に関する本を集めてみました。本を通してその先の未来に思いを馳せてみませんか。

ミニ展示コーナー

「いえでのんびり
しんねんのどくしょ」
1 月 4 日（金）～1 月 24 日（木）

今年の干支・いのしし（亥）は十二支の最後の年。このいのしし（亥）を含めた干支に関する本や、お正月の縁起物など新年にちなんだ本を集めました！

回廊展示コーナー

「読書週間イベント紹介展」
12 月 15 日（土）～1 月 24 日（木）

今年度の読書週間イベントを振り返り、写真でご紹介しています。

読書週間イベントは来年度も実施しますので、気になったイベントがありましたら、ぜひご参加ください！

2019 年　今年もよろしくお願いいたします。

ハトダヨにしか
載っていない！

ぜひ読んでみてください！

スタッフのおすすめ本

棚：A7～A9
請求記号：210.5 ﾆｼ

タイトル：**「実は科学的!?
江戸時代の生活百景」**

著者：西田　知己　　出版社：東京堂出版　（2018 年 9 月）

お寿司屋さんで今や定番の「マグロ」。実は見向きもされない不遇の時代があったことをご存じですか？マグロは鮮度が落ちやすいため、輸送が困難だったことも理由のひとつだとか。江戸の人たちはそんなマグロの欠点を醤油に漬ける「づけ」にすることで見事に解消してみせました。醤油の塩分で腐りにくくし、さらに美味しくしてしまうなんて、素晴らしい発明です！

この本には、そんな江戸の暮らしの工夫がたくさん紹介されています。当時すでにあった地震予知装置や歯ブラシなど、当時の図版も豊富に紹介されていますので、大人も子供も楽しく読むことができます。

棚：A35～A36
請求記号：748 ｶｶ

タイトル：**「天空讃歌」**

著者：KAGAYA　　出版社：河出書房新社（2016 年 11 月）

星空を中心とした天体写真集です。撮影された KAGAYA さんは、デジタルペンティングというデジタル技術を駆使した絵を描く第一人者であり、星や宇宙への造詣が深い方です。自らの名を冠した小惑星もあるほど。そんな KAGAYA さんが撮影した星空の写真はどれも幻想的。文字通りの満天。吸い寄せられそうになります。日本をはじめ、世界各地で撮影された写真は、星空はもちろん、夜景の美しさにも心洗われるようです。

思わずため息がでるような夜空の旅をどうぞ。

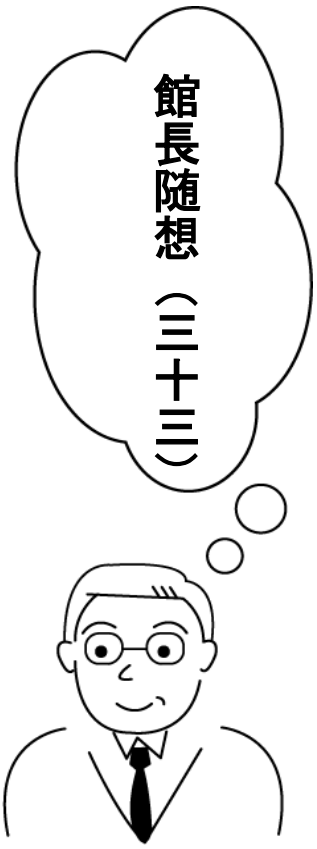
棚：J14～J15
請求記号：596.04 ﾏｲ

タイトル：**「毎日のごはんは、
これでいい」**

著者：牛尾　理恵　ほか　　出版社：主婦の友社（2017 年 8 月）

お恥ずかしい話、家事に挫折感を持ち始めている私には、心がラクになる救いのような、とてもありがたい本でした。

藤井恵さん、飛田和緒さんなど、多くの本を出版されている人気料理研究家の方が、普段のごはんや料理に対する考え方を、エピソードを交えて語っています。皆さんとてもシンプルなもので驚きました。栄養バランスや味付けのアドバイスもあり、基本に戻ることができて勉強になります。特に浜内千波さんの言葉に深く反省し、もうレシピ検索はやめようと思いました。



館長随想（三十三）

新年を迎え、職員一同より良いサービスをめざしますので
今年も図書館をご利用いただきますようお願いいたします

皆さんはどのように正月を過ごされたでしょうか。図書館は年末年始のお休みをいただきましたが、一部の職員は交替で出勤し、見回り、ブックポストに返却された本の整理などしていました。また、前日は一日出勤して翌日からの開館に備え、全館を暖房し、本の整理も行いました。図書館のような大きな建物は、暖房を入れない日が続くと、建材そのものも冷え切ってしまいます。最後の休館日だけでも暖房を入れることで、開館初日を少しでも快適にしようと思っていますが、やはり普段通りの暖かさに戻るには数日かかります。席によっては寒いと感じる場所がありますので、暖かい場所を探して読書していただければありがたいです。

一月中には、来年度の事業計画を作り上げるために準備をしています。これまで好評をいただいている作家による秋の文芸講演会なども実施します。ご期待ください。図書館で催してほしいようなことがあれば、是非館長室にお越しくださってお話ください。今後の運営の参考にさせていただきます。

デジタル資料館 紹介

棒二デパートの屋上開き（ph004025）

写真は昭和 36 年 4 月 23 日の北海道新聞に掲載された棒二森屋の屋上開きの様子です。互福（ごふく）稲荷の例大祭も兼ね、全従業員と来賓が出席して行われました。

互福稲荷は商売繁盛を願って京都の伏見稲荷大社の分霊を屋上に祀ったもので、昭和 12 年発行の『社屋新築工事概要』掲載の完成図にも描かれています。

参考：北海道新聞（平成 28 年 9 月 28 日夕刊）、『社屋新築工事概要』（昭和 12 年 11 月　棒二森屋／発行）

心まで温まる ほっと ドリンク

寒い朝、昼食時、休憩中、就寝前・・・温かい飲み物があるとうれしい季節です。
図書館には、温かい飲み物のレシピ本もたくさんありますし、温かい飲み物が登場する物語もあります。
この冬は読書で「ほっと」一息、ブレイクタイムはいかがでしょうか。

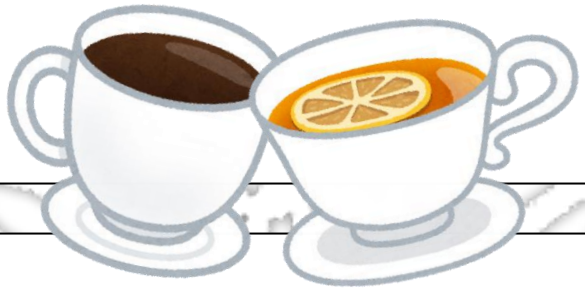
珈琲・紅茶

ブラックコーヒーの苦みを楽しむ大人なひと時、ミルクティーで優雅に過ごすエレガンスなひと時。忙しい日々の中でそのような時間が私たちの生活に潤いを与えてくれます。
心の栄養になるお茶を飲みながら、そんな時間に携えるコーヒーや紅茶の一冊はいかがでしょうか。

【おすすめ本】

「名探偵のコーヒーのいれ方」　クレオ・コイル／著
東京：ランダムハウス講談社

「ダージリンは死を招く」　ローラ・チャイルズ／著
東京：ランダムハウス講談社



甘酒

冬になり、酒かすが店頭に並ぶようになると母が作ってくれたしょうがの効いた甘酒・・・実は子供のころは苦手で、息をとめて飲んでいました。今では甘酒大好きです。

【おすすめ本】

「つばめの来る日」　橋本　治／著
東京：角川書店

「半七捕物帳　4」　岡本　綺堂／著
東京：まどか出版

お味噌汁

お味噌汁って、家庭によって具材が様々ですよね。一番びっくりしたのは、きゅうりの味噌汁です。

【おすすめ本】

「はなちゃんのみそ汁」　安武　信吾／著
東京：文藝春秋

「食堂つばめ　4」　矢崎　存美／著
東京：角川春樹事務所

お汁粉

自動販売機で缶入りお汁粉が登場すると冬の訪れを感じます。
お汁粉に限らず、和菓子の主役である「あんこ」は、粒あん派・こしあん派でどちらがおいしいか意見を戦わせるのも楽しいです。

【おすすめ本】

「おしるこ」中島たい子／著
（収録：「スタートライン」小川糸／[ほか著]
東京：幻冬舎）

「あん」　ドリアン助川／[著]
東京：ポプラ社

「和菓子のアン」　坂木　司／著
東京：光文社

中央図書館　棚 J１４～１５、特別展示コーナーでは、温かい飲み物の本を多数ご用意しております。
ぜひ、ご利用ください。